

1. 科目名 (単位数)	教育実習指導 (中等) (1 単位)	3. 科目番号	EDTS3373 SSMP3486 SNMP3486 SCMP3486 SBMP3486 EDTS2375						
2. 授業担当教員	深沢 和彦								
4. 授業形態	講義や演習 (学習指導案の作成や模擬授業の実施など)、事例研究についてグループディスカッションによる実践的な学びあいを重視します。	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	教育学概論 (中等)・教師論 (中等)・教育課程論 (中等)・教育方法論 (中等)・実習該当教科の指導法を取得してから履修することが望ましい								
7. 講義概要	<p>教育実習に対する理解を深め、教育実習生としての態度や心構えについて学習する。主な内容として、教育実習の意義や目的、実習内容の概要、教育実習生としての基本姿勢や生活態度、教科指導等にかかわる学習指導案の作成及び模擬授業の実施、教育実習日誌の作成等を取り扱い、教育実習に必要な事項のすべてについて学習する。</p> <p>教育実習を通じて、教育現場での実際を体験的に学び、教職への道をより確かなものとして邁進できるようにするとともに、教育実習生としての社会性を身に付けることをねらいとする。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育実習の意義・目的及び教育実習の概要について理解し、説明できるようになる。 2 教育実習生としての基本姿勢・生活態度、教育実習の心構え等を理解し、実習を行えるようになる。 3 教材研究の重要性を理解し、教材研究に裏打ちされた教科・科目の学習指導案を作成できるようにする。 4 作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実施し、教師の役割について理解し、説明できるようになる。 5 教育実習日誌の作成をはじめ、教育実習に必要とされるすべての事項について学び、実習を行えるようになる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートⅠ 私の教える専門教科について ・レポートⅡ 学習指導案 (教育実習で担当する教科・科目) の作成 <p>*レポートⅠは1600字、A4で1枚にまとめ10月末日までに、レポートⅡは各自が教育実習で担当する教科・科目にかかわる学習指導案をVer. 1とVer. 2の2通り作成し、各々の指示された期限までにそれぞれ提出すること。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 東京福祉大編『教育実習の手引き』 文部科学省『中学校学習指導要領解説 (保健体育編、外国語編)』2017 年 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 (保健体育編、外国語編、情報編、公民編、福祉編)』2018 年 *上記学習指導要領解説のうち、教育実習において各自が担当する教科・科目に該当する最新の学習指導要領解説を用意すること。</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房、2008 年。 *必要に応じてプリント資料を配付する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 教育実習の目的・概要を理解し、教科・科目の学習指導案を作成して、模擬授業等を計画・実施・改善を図り、教育実習を行えるようになる。</p> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1 日常の授業態度 (参加態度、発表、発言、学習状況等)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート (学習指導案を含む)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3 模擬授業 (プレゼン)</td> <td>30%</td> </tr> </table>			1 日常の授業態度 (参加態度、発表、発言、学習状況等)	40%	2 課題レポート (学習指導案を含む)	30%	3 模擬授業 (プレゼン)	30%
1 日常の授業態度 (参加態度、発表、発言、学習状況等)	40%								
2 課題レポート (学習指導案を含む)	30%								
3 模擬授業 (プレゼン)	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>教育実習は教員免許状を取得するために必要とされるもので、教育現場の緊張感をもって誠実に、そして着実にこなしていかなければならない。そのためには、実際に教育実習に行く前の準備として、教育実習の目的・目標を確認するとともに、教育実践の場において適切に対応しうる理論・知識・技術を身に付けておくことが大切である。</p> <p>この科目では担当予定の教科・科目にかかわる教科書 (題材) に基づき、学習指導案の作成を通じて授業力の向上に取り組み、教職と自己に対する認識を深め、教職志望者としての自覚をもてるようになることが望まれる。毎回の授業には積極的な態度で臨み、皆さんが小学校・中学校・高等学校の学校段階で積み重ねてきた「授業体験」を原風景として振り返ってください。皆さんの授業の原風景とこの授業での学びを結びつけ、生徒の実態に寄り添える教師をめざしてください。</p> <p>【学生に期待すること】 受講生の皆さんは、上記のような目的を達成するために下記の内容に留意してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教師と受講生、受講生同士のコミュニケーションが学びの質を高めます。グループワークには積極的に取り組み、課題意識をもって臨んでください。 ②授業に臨むにあたって無断欠席、遅刻、早退、無断退出をしないでください。(欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面にて報告してください。正当な理由であっても、必要な時間数に不足する場合は不合格となります。) ③明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も授業態度の改善が見られないと判断された場合、試験の答案内容の如何にかかわらず、不合格となります。 ④授業中、飲食、私語、居眠りはしないでください。 ⑤授業中は携帯電話等の携帯端末の電源を切ってカバンにしまってください。 								
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	科目のガイダンス 教育実習にかかわる事前調査の実施 教育実習の手引き	事前学習	教育実習などの実習記録に目を通し講義に臨む。						
		事後学習	教育実習に臨むアウトラインをまとめ手続きを確認する。						

第2回	教育実習についてのグループワーク① 教育実習生が身に付けておくべき資質・能力	事前学習	事前に配付した資料を熟読して、自分の意見をまとめておく。
		事後学習	配付したワークシートに教育実習生としての資質・能力のポイントをグループ単位でまとめる。
第3回	中学校・高等学校の教育課程 (保健体育編、外国語編、公民編、情報編、福祉編)	事前学習	実習教科・科目の指導要領解説を熟読し準備する。
		事後学習	各自で教科・科目について取り扱いの留意点や特性をまとめレポートⅠを作成し、期限までに提出する。
第4回	教育実習についてのグループワーク② 学習指導の方法・技術(発問・板書・教育機器の活用など)	事前学習	事前に配付した資料を熟読して、自分の意見をまとめておく。
		事後学習	配付したワークシートに教育実習生としての資質・能力のポイントをグループ単位でまとめる。
第5回	教育実習で担当する教科・科目別のグループ編成 学習指導案の作成準備 *模擬授業の教科・科目の単元の決定をする	事前学習	模擬授業をおこないたい教科・単元について検討する。
		事後学習	班ごとに授業教科の学習指導要領解説編をよく読んで、各自が実習をおこなう教科・科目の指導案作成の準備をする。
第6回	学習指導案の作成と検討① 単元目標・評価規準・指導計画・本時の目標と展開案 1. 日時 2. 対象学年・組(場所) 3. 教材・単元名 4. 単元の目標 5. 単元について(1)教材観(2)生徒観(3)指導観 6. 単元の指導計画 7. 本時の学習(1)本時の目標(2)評価基準(3)本時の展開(4)板書計画	事前学習	模擬授業をおこなう教科・科目の単元について、学習指導要領の位置付けを確認する。
		事後学習	各自の学習指導案 Ver. 1 を作成する。 *学習指導案 Ver. 1 は指示された期限までに完成させて提出する。
第7回	学習指導案の作成と検討② 個人で作成した学習指導案を班ごとに検討して、グループごとに代表の学習指導案の検討(単元目標・評価基準・指導計画・本時の目標と展開案)	事前学習	各自が作成した学習指導案 Ver. 1 について推敲する。
		事後学習	各グループで独自に集まり、模擬授業用の代表の学習指導案についてすり合わせを行って行く。
第8回	学習指導案の作成と検討③ グループごとに発表する代表の学習指導案の教材教具の検討(板書計画・配付ワークシート・配付資料など)	事前学習	代表の学習指導案のすり合わせをもとに学習指導案を検討する。
		事後学習	各グループで代表の学習指導案を推敲する。
第9回	模擬授業① 模擬授業の参観 模擬授業の振り返り	事前学習	配付する模擬授業の授業計画案を熟読しておく。
		事後学習	参観した模擬授業の評価票を参考にグループ毎に課題を整理する。それをもとに各グループの代表の学習指導案を推敲する。
第10回	模擬授業② 模擬授業の実践 模擬授業の振り返り	事前学習	模擬授業をおこなうグループは、発問・資料・板書計画等を検討し、学習指導案及び配付資料を印刷する。
		事後学習	模擬授業をおこなったグループは、参観者からの評価票を参考に課題を整理する。それをもとに各自の学習指導案 Ver. 1 を推敲して学習指導案 Ver. 2 を完成させる。 *学習指導案 Ver. 2 の提出は次回の授業までとする。
第11回	模擬授業③ 模擬授業の実践 模擬授業の振り返り	事前学習	模擬授業をおこなうグループは、発問・資料・板書計画等を検討し、学習指導案及び配付資料を印刷する。
		事後学習	模擬授業をおこなったグループは、参観者からの評価票を参考に課題を整理する。それをもとに各自の学習指導案 Ver. 1 を推敲して学習指導案 Ver. 2 を完成させる。 *学習指導案 Ver. 2 の提出は次回の授業までとする。
第12回	模擬授業④ 模擬授業の実践 模擬授業の振り返り	事前学習	模擬授業をおこなうグループは、発問・資料・板書計画等を検討し、学習指導案及び配付資料を印刷する。
		事後学習	模擬授業をおこなったグループは、参観者からの評価票を参考に課題を整理する。それをもとに各自の学習指導案 Ver. 1 を推敲して学習指導案 Ver. 2 を完成させる。 *学習指導案 Ver. 2 の提出は次回の授業までとする。
第13回	模擬授業⑤ 模擬授業の実践 模擬授業の振り返り	事前学習	模擬授業をおこなうグループは、発問・資料・板書計画等を検討し、学習指導案及び配付資料を印刷する。
		事後学習	模擬授業をおこなったグループは、参観者からの評価票を参考に課題を整理する。それをもとに各自の学習指導案 Ver. 1 を推敲して学習指導案 Ver. 2 を完成させる。 *学習指導案 Ver. 2 の提出は次回の授業までとする。
第14回	模擬授業⑥ 模擬授業の実践 模擬授業の振り返り	事前学習	模擬授業をおこなうグループは、発問・資料・板書計画等を検討し、学習指導案及び配付資料を印刷する。
		事後学習	模擬授業をおこなったグループは、参観者からの評価票を参考に課題を整理する。それをもとに各自の学習指導案 Ver. 1 を推敲して学習指導案 Ver. 2 を完成させる。 *学習指導案 Ver. 2 の提出は次回の授業までとする。
第15回	教育実習日誌の書き方 教員採用試験について この授業のまとめ(ワークシートの記入)	事前学習	事前に配付した資料を熟読してくる。
		事後学習	この授業から学んだことを振り返り、総合的なまとめとする。

*2019年度以降入学生より、教育実習にかかわる単位取得は、教職課程再課程認定に伴い「教育実習指導(事前指導)」、「教育実習

(4週) および「教育実習事後指導 (1時間)」におけるすべての履修によって単位取得が認定されることとなった。